

日本経営学会 学会ニュース

NO.67
2025.05

JABA

Japan Academy of Business Administration

<https://keiei-gakkai.jp/>

〒162-0808 東京都新宿区天神町 78

jaba@keiei-gakkai.jp



西南学院大学

日本経営学会第99回大会（2025）

統一論題テーマ「経営学のこれまでとこれから」

2025年9月2日（火）～9月5日（金）

於：西南学院大学中央キャンパス

第99回大会プログラム委員長 古川靖洋

日本経営学会第99回大会は、2025年9月2日（火）から9月5日（金）（ただし9月2日は常任理事会・理事会・各種委員会のみ開催予定）の日程で、西南学院大学中央キャンパス（福岡市早良区西新6-2-92）に於いて、対面にて開催されます。

さて、今大会の統一論題のテーマは、「経営学のこれまでとこれから」です。日本経営学会は1926年に第1回大会を開催し、2026年には第100回の記念大会を開催しようとしております。第99回大会はその第100回大会に向けて、経営学のこれまでをふりかえるとともに、これからを展望して第100回大会へと引き継いでいく役割を果たしていく所存です。これまでの研究成果を振り返りながら現在の到達地点を確認し、そこから社会の変化を展望して新しい研究成果を生み出していく過程は、これまでも、そしてこれからも不変の研究営為であり続けることでしょう。第99回大会では、その温故知新の精神を基底に据えながら、経営学の着実な発展を模索してまいりたいと思います。

上述のように、着実性を意識した統一論題のもと、サブテーマでは今後の経営学研究の発展性を意識して、①「経営と人間」、②「経営と技術」、③「経営学研究の評価」の3つのテーマを設定しております。それぞれのサブテーマにおいて、経営学研究のこれまでを振り返り、これからを展望したいと考えています。

なお、従来通り、プログラムには自由論題、院生セッション、ワークショップも含まれる予定です。詳細は日本経営学会ホームページ「日本経営学会第99回大会（2025）大会案内」に記載しております。また、今回も懇親会の開催を予定しておりますので、多くの会員の皆様のご参加を賜り、お目にかかれることを心よりお待ちしております。

Topics

- 日本経営学会第99回大会（2025）
- 日本経営学会第100回大会開催校挨拶
- 100周年記念事業委員会
- 広報委員会より

■活動報告

- ・ 学会誌編集状況
- ・ 国際活動状況
- ・ 関連団体の活動状況

■事務連絡

巻末資料

- ・ 日本経営学会第99回大会（2025）報告者募集



大会ホームページのご案内



日本経営学会第99回大会

ホームページにて最新情報をご確認ください。

学会ホームページのご案内



日本経営学会

日本経営学会ホームページでは随時最新情報を更新しておりますので、折にふれてご確認ください。

変更申請・会費納入のお願い

新年度開始時会員資格は6月末迄の申請納入分が反映されます。理事選挙もありますのでご注意ください。

日本経営学会第99回大会の開催校からの挨拶

第99回大会実行委員長 西南学院大学 藤岡 豊

この度、西南学院大学が日本経営学会第99回大会を2025年9月2日（火）～5日（金）に開催させていただくことになりました。同大会では、「経営学のこれまでとこれから」を統一論題として、経営学のこれまでをふりかえるとともに、これからを展望して第100回大会へと引き継いでいく役割を果たしてまいりたいと存じます。

同大会では、統一論題、自由論題、ワークショップ、学会賞セッション、西南学院大学商学部創設70周年記念特別講演、会員総会、懇親会などを開催する予定です。とりわけ、自由論題の大学院生セッションでは、大学院生の研究をいっそう深めるための新しい取り組みを始めます。

開催校となる西南学院大学は、学芸学部の単一学部からなる新制大学として1949年に開設され、現在は人文・社会科学系の7学部12学科、大学院7研究科を備える総合大学として発展しております。加えて、本学の商学部は2024年に創立70周年を迎えましたので、その記念事業としても同大会を開催させていただきたく存じます。

開催校が所在する福岡市では、天神地区と博多地区の再開発が2021年から進んでおり、その街並みは日々変わっております。なお、福岡市の宿泊事情は依然として厳しい状況が続くと思われまので、ご参加の際には宿泊先をぜひ早めにご手配くださいますようお願い申し上げます。

同大会の詳細につきましては、日本経営学会HPの大会案内などにおきまして、適宜お知らせしてまいりますので、どうぞ楽しみにお待ちください。実行委員会一同、一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本経営学会第100回大会開催校挨拶

第100回大会実行委員長 早稲田大学 藤田 誠

来年2026年9月に開催される第100回大会を早稲田大学でお引受けすることになりました。記念すべき100回目の大会を本学で開催することは、名誉であるとともに責任の重さを感じております。プログラム委員会および100周年記念事業委員会の先生方のご協力をえながら、記念大会にふさわしい内容にすべく尽力する所存です。

日本経営学会を取巻く環境も変化し、近年は若手・中堅研究者は海外で開催される国際学会あるいは海外で発行される英文学術雑誌への投稿には熱心に取組む一方で、国内での学会活動に対する熱量はあまり高くないという傾向が見られます。こうした現状認識に基づき、プログラム委員会では、サブテーマのひとつに国際的な研究発信力を据えて、会員とくに若手・中堅会員の国際研究発信力向上に資する内容にしようとして企画しております。また、統一論題は経営学会100年の歴史を踏まえたうえで将来を展望しようという趣旨のものにする予定です。詳細は決定次第学会ニュースなどでお知らせします。

100周年記念事業委員会

100周年記念事業委員会 出見世信之

日本経営学会は、2026年7月に創立100周年を迎えます。創立100周年記念事業を企画・実施することを目的として、2024年9月の総会で100周年記念事業委員会の設置が承認されました。2025年2月、3月に委員会を開催し、まず、第91回大会から第100回大会までの全国大会について、統一論題を中心とした記録を作成することを決めました。学会ホームページには、第1回大会から第90回大会までの記録が公開されていますが、この続編となります。第91回大会以降、プログラム委員会委員長や大会実行委員会委員長を経験された方には、記録をまとめるに当たり、ご協力いただくこととなりますので、よろしくお願い致します。

また、100周年記念講演等の事業を早稲田大学で開催される第100回大会で実施することを検討しています。こちらについては、詳細が決まり次第、お知らせ致します。さらに、100周年を記念した表彰や研究奨励賞等も検討しています。その他、海外の協力団体とイベントを実施することも検討する予定です。これらについても、決まり次第、学会ニュース等でお知らせします。

広報委員会より

広報担当常任理事 松田 健

●メールリスト【JABA-ML】登録のお願い

日本経営学会では日本経営学会メールリスト（JABA-ML）を用いて、学会ニュースや部会開催情報などを配信しています。これらの情報に加え、（条件はありますが）関連団体によるイベントの告知など、さまざまな情報を会員の皆さまに遅滞なくご案内することが可能になりました。まだメールリストにご登録いただいていない会員各位には、ぜひ学会ホームページよりメールアドレスをご登録下さいますよう、この場をお借りしてお願いする次第です。



春になり、ご所属が変更になる会員の皆様方もおられることと存じます。ご所属の変更手続きは学会HPのリンクから様々な変更事項に対応した[フォーム](#)に入れますので、そこからご入力下さいますようお願い申し上げます。

今後ともJABA-MLによる学会情報の発信にご協力を賜りますよう、宜しくようお願い申し上げます。

●ホームページ会員の[新刊書籍紹介](#)の募集

学会ホームページでは、書籍の編著者である会員ご本人からのご希望に基づき、出版後1年以内の書籍の紹介を掲載しています。書籍紹介を希望される会員におかれましては、編著者名、書籍名、出版社、発売日、ISBNといった書籍情報と、必要に応じて200字程度の紹介文とを、学会事務局までメールにてお送り下さい。掲載期間は、掲載後1年間とします。なお、紹介文に不適切な表現がある場合には、修正をお願いする場合や掲載をお断りする場合があります。ご承知おき下さい。学会ホームページの充実にご協力賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

活 動 報 告

学会誌編集状況

学会誌編集委員会委員長 馬場 杉夫

まずは学会誌の編集状況を、お知らせいたします。2025年3月31日現在、2024年の総投稿数は28本、採択数は今のところ4本（審査中8本）となっており、採択率は14.3%、平均審査日数132日となります。東西の編集委員会が担当した内訳は、東日本0本、西日本4本となります。2025年は投稿数が4月30日現在9本を数え、審査に入っております。

続いて学会誌刊行状況を、お知らせいたします。第57号が4月25日に刊行されました。経営学論集第95集である第58号が校正段階に入っております。第59号が入稿までと原稿1本（査読付き論文が4本、書評1本が準備されております）となっております。

学会ニュースの場をお借りして、投稿論文の審査を担当頂いた編集委員、及び厳正な審査をして頂いた査読者の先生方に、厚くお礼を申し上げます。会員の皆様には、学会誌に積極的に投稿して頂きたくお願い申し上げます。その際には、学会員であるとともに、当該年度の学会費をお支払い済みであること、及び投稿規定と執筆要領に従ったご投稿をお願いします。



国際活動状況

国際委員会委員長 原 拓志

2024年11月29日、IFSAMの役員改選があり、新たな会長にイギリス経営学会のNic Beech教授(Salford大学)が就任しました。また、日本経営学会のYingYing ZhangZhang会員(国際大学)がIFSAMの事務局長に、日野健太会員がMembership Engagement担当の副会長に選ばれました。

昨年(2024年)の全国大会での日本経営学会とIFSAMの共同セッションにおいて、Sandro Castaldo IFSAM前会長から提案のあったイタリア経営学会(SIMA)の年次大会(2025年6月12日~13日)への参画として、3名の会員(小沢貴史会員、和田雅子会員、田中あや会員)が、“Japanese Management Today: International Perspectives”というタイトルのセッションで報告することが決定しました。報告者には各5万円の支度金が授与されました。

第99回全国大会では、国際委員会企画セッションを計画中です。検討中の案は、会員と日本で活動している外国人研究者との間で、経営学における外国人研究者にとっての日本の研究環境の課題や、日本人研究者の海外での研究促進について意見交換をするというものです。具体的詳細は後日プログラムで示しますので、ぜひ多くの会員にご参加いただければ幸いです。



関連団体の活動状況

経営関連学会協議会

経営関連学会協議会評議員 出見世信之 木村有里

2024年12月1日(日)に、第21回公開シンポジウムが「経営学領域の若手研究者の育成における現状と課題」をテーマに明治大学で開催されました。

基調講演として、「『経営学の危機』と大学の危機：若手研究者育成の『量と質』をめぐる問題の諸相」をテーマに、佐藤郁哉氏(同志社大学)よりお話をいただいた後、「経営関連の4領域における若手育成策の課題と取り組み」をテーマに、上林憲雄氏(神戸大学)も参加されてパネルディスカッションが行われました。主に教員の任用・昇格等の業績評価に関する課題から、経営関連領域における若手育成をどのように行うことができるかについて、活発に議論が行われました。

2025年3月1日(日)には、経営関連学会協議会共催で「AI活用時代における経営教育の変革」をテーマに、日本学術会議学術フォーラムが日本学術会議で開催されました。パネル討論1では、「2030年に向けた企業経営・会計監査の人材育成に資する教育変革」と題して、恩藏直人氏(早稲田大学商学大学院教授)がファシリテーターを務め、活発な議論が行われました。パネル討論2は、「社会のあるべき姿からみた経営教育の展望」と題して、ファシリテーターの鈴木久敏氏(筑波大学名誉教授)により討論が行われました。

経営関連学会協議会のホームページには、こうした活動状況の紹介に加え、ニュースレターも公開されておりますので、ぜひ、ご覧下さい。

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会
GEAHSS

日本学術会議 GEAHSS 担当委員 鈴木由紀子

GEAHSS 第8期第1回(通算第15回)運営委員会が、2025年3月24日(月)13:00~13:45 Zoomによるオンライン開催されました。

新役員体制、幹事学協会・副幹事学協会の紹介がなされ、また第3回人文社会科学研究者の実態調査を行う調査委員会委員が承認されました。グッドプラクティスをはじめ、その他の活動報告が行われ、今後の活動計画も示されました。詳細については、[GEAHSS ホームページ](#)をご参照ください。

日本経済学会連合

経済学会連合評議員・理事 馬場杉夫 三和裕美子

2024年9月13日から18日の間にメールにて第2回理事会がメール審議として配信され、国際会議派遣補助について審議し、承認されました。

2024年10月29日 第3回理事会・第2回評議員会が開催されました。2024年度会計中間報告、2024年度第3次補助申請審査報告、英文年報第44号の編集状況、周年記念事業後継誌 Web マガジン「エコノミクス&ビジネス・フォーラム」が刊行予定であることが報告されました。また、2025年3月に予定されている、アカデミック・フォーラムの企画募集について協議し、日本商業学会を中心に開催することが異議なく承認されました。

2025年4月7日から14日の間にメールにて第4回理事会がメール審議として配信され、学会合費補助（1学会）、外国人学者滞日補助（2学会）の審議を行い、承認されました。また、国際会議派遣補助（1学会）は検討中です。第7回アカデミック・フォーラム「物流をとりまく環境変化と課題」が早稲田大学にて開催され、120名を超える参加申し込みがあり、盛会に終わりました。Web マガジン「エコノミクス&ビジネス・フォーラム」が創刊されました。

事務連絡

●年会費納付方法のご案内

2024年度年会費納入がお済みでない方は、早急にお手続きをお願いします。年会費はオンライン決済等も対応しております。郵便料金も値上げになりましたので、電子発行等にご協力いただければ幸いです。年会費請求方法の変更も [\[変更申請\]](#) よりご連絡をお願いいたします。

種別	納入方法	手数料	領収書
電子発行	銀行振込 経理部署での対応、ATM、インターネットバンキングご利用など	振込人	申請
払込取扱票	郵便局窓口または郵便局設置のATMにて払込	学会	半券部分
PayPal 決済	オンライン決済代行サービスの利用 クレジットカード決済、定期請求	学会	PayPal 受領書

銀行振込 ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0075175 ニホンケイエイガツカイ
郵便振替 00150-1-75175 日本経営学会

●変更申請のお願い

所属機関やメールアドレス、年会費請求方法のご希望などに変更がある場合にはホームページの [\[変更申請\]](#) よりご連絡ください。

新年度開始時会員資格は6月末迄の申請納入分が反映されます。理事選挙もありますのでご留意ください。

変更申請



日本経営学会事務所

〒162-0808 東京都新宿区天神町78

✉ jaba@keiei-gakkai.jp ☎ 03-3235-0200

日本経営学会 第99回大会（2025）報告者募集

最新情報は、日本経営学会ホームページ [[大会案内](#)] を更新しますので、ご確認ください。

自由論題報告者募集（CFP方式）

各分会推薦により自由論題報告者を決定する方式とは別に、各会員の自発的応募によりプログラム委員会が自由論題報告者を審査選考する方式を採用しています（コールフォーペーパー：CFP方式）。このCFP方式では、会員の種別を問わず、申し込み時点で報告者全員が会員であり、会費を納入済みであることが必要です。自らが他の学会で報告した研究と同じ内容を重複して報告することはできません。英語セッションは設けておりませんが、自由論題報告を英語でしていただくことは可能です。これらの点を踏まえたくうえで、ふるってご応募ください。

とりわけ大学院生セッションでの報告に対しては、本学会の理事、幹事が複数参加して、『日本経営学会誌』への掲載が近いと思われる報告者を、後日ペーパー・デベロップメント・セッションへ推薦することになります。報告者の研究を深めることを意図しておりますので、大学院生会員はふるってご応募ください。

- 1) 報告者の設定人数 計35名程度（①一般会員20名程度 ②大学院生会員15名程度）（新規を優先します）
- 2) 報告討論時間 ①一般会員セッション：報告25分＋質疑15分 計40分
②大学院生セッション：報告20分＋質疑20分 計40分

大学院生セッションでの報告に対する質疑には、報告者の研究を深める助言が含まれます。ただし、会場設定の都合等を考慮して、大学院生会員の中から一般会員枠での発表に変更される可能性があることを予めご了解ください。変更を報告者をお願いする場合には、プログラム委員会から事前にご連絡をさしあげます。

- 3) 応募締切り **2025年5月7日（水）～締め切り～**
- 4) 応募申込方法 2025年2月1日より大会ホームページ内受付システムからご応募ください。
①報告者全員の氏名（申し込み時点で全員が会員であることが必要です）、②報告者全員の所属（現職・職位）、③報告者全員のメールアドレス、④報告タイトル、⑤報告要旨（問題意識・論点・視点・主たる知見等、1,200文字以内）、⑥大学院生セッションでの報告希望有無を「A4サイズ用紙1枚」に明記して、ご提出ください。提出するファイルは、マイクロソフト・ワードかPDFに限ります。提出したら受領確認のメールをご確認ください。
- 5) 諾否審査の通知 プログラム委員会にて審査・選考し、5月末日までに決定し、メールにて通知いたします。
- 6) 報告要旨集原稿の締切りと提出方法
①締切り **2025年7月20日（日）**（報告確定者には日時を別途通知いたします）
②提出方法 報告要旨集の原稿は、大会ホームページ内受付システムよりご提出ください。
許諾の通知から原稿提出の締切りまで短期間であることをご理解のうえ、ご応募ください。

ワークショップの報告者募集

- 1) 設定件数 3件程度
- 2) 応募締切り **2025年5月7日（水）～締め切り～**
- 3) 応募申込方法 2025年2月1日より大会ホームページ内受付システムからご応募ください。
①報告者全員の氏名（申し込み時点で全員が会員であることが必要です）、②報告者全員の所属（現職・職位）、③報告者全員のメールアドレス、④報告タイトル、⑤報告要旨（問題意識・論点・視点・主たる知見等、1,200文字以内）を「A4サイズ用紙1枚」に明記して、ご提出ください。提出するファイルは、マイクロソフト・ワードかPDFに限ります。提出したら受領確認のメールをご確認ください。
- 4) 諾否審査の通知 プログラム委員会において審査・選考し、5月末日までに決定し、メールにて通知いたします。

ペーパー展示会の参加募集

論文の抜刷やワーキング・ペーパーによる大会参加を募集します。会員が事前に掲示希望を届け出れば、論文の抜刷やワーキング・ペーパーを自由に持ち込んで掲示・配布することができます。設定件数に制限はありませんが、会場設営等の都合もありますので、希望者は2025年6月25日（水）までに下記の専用メールアドレスへお申し込みください。



滋 西南学院大学

各種申込先・問合せ先

日本経営学会第99回大会（2025）実行委員会

専用メールアドレス：jaba99th2025@gmail.com

日本経営学会第99回大会実行委員長 藤岡 豊